

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 27-1-016
補助事業名 平成27年度 自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する補助事業
補助事業者名 一般財団法人 日本サイクルスポーツセンター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

アジア地域におけるトレーニングセンターとして、アジア各国の将来有望なトラック競技者及びそのコーチの中から希望者を募り、国内外においてトレーニングキャンプを実施することにより、自転車競技の普及振興と競技力の向上を図る。

また、自転車競技大会では、トラック競技大会を開催し様々な年代・技量を持つ自転車愛好者にトラック競技の醍醐味を伝え、生涯スポーツとしての自転車利用の促進並びに自転車愛好者の底辺拡大を図る。

(2) 実施内容

アジアサイクリングセンターの運営

①国内トレーニングキャンプ

第1回トレーニングキャンプ； (<http://www.csc.or.jp/ccc/index.html>)

- ・ 期間：平成27年6月21日から7月4日（14日間）
- ・ 参加人数：3カ国、選手6名

内訳(香港チャイナ：選手2名、タイ王国：選手2名、日本：選手2名)



トレーニング説明



コーチによる選手へのフィードバック

- ・ 練習内容： 選手の体格にフィットすると思われる適切なポジション確保のため、台上走行試験機による測定で個々のペダリングパワーの特徴などを把握した上でポジション修正を行い、前半はボリュームあるトレーニングを実施した。後半は、香港チャイナの1名がキャンプ終了直後「ジャパントラックカップ」に出場するため、出場種目に適したトレーニングを実

施した。また、他の選手には、筋出力機能の向上を狙ったトレーニングを実施し、最終回セッションでは電気計時システムを利用したタイムトライアルを行い、トレーニング効果の評価指標とした。

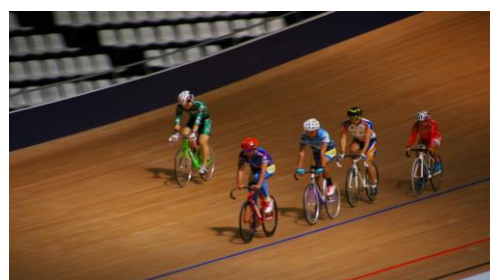
そのほかでは、昨年に続きVリーグ・プレミアリーグで何度も日本一に輝いた東レアローズ男子バレーボールチームのクロストレーニングが本センターで実施されていることから、会場を共有した2日間、相互の国際交流を図ることができ参加選手にとって大変貴重な経験になった。

第2回トレーニングキャンプ；

- ・ 期 間：平成27年11月5日から11月18日（14日間）
- ・ 参加人数：3カ国、選手7名
内訳(香港チャイナ：選手1名、タイ王国：選手2名、日本：選手4名)



集合写真



訓練風景（周回訓練）



ウォーミングアップ



トレーニングのあとのストレッチ

- ・ 練習内容：今回は、特に14～17才までと通常よりさらに若いアスリートたちの参加であった。したがって、基礎的な体力及び技術の習得のためのプログラムはもちろんのこと、過負荷な強度によるオーバートレーニングにならないよう注意を払った。各選手のペダリングや乗車フォームの癖を見抜き、ペダリングの効率的なフォームやペダリングに改善するようポジションの調整や指導を行った。

②海外トレーニングキャンプ (<http://www.csc.or.jp/ccc/index.html>)

南・東南アジアの競技発展途上国を中心とするアジア全域におけるトラック競技の普及を目的にThai Cycling Associationの協力の下、CCC修善寺から指導員 2 名と事務局 1 名を派遣し、タイ王国・バンコクで海外トレーニングキャンプを開催した。また、引き続き同会場に於いてACCトラックアジアカップ 2015 タイラウンドに出場する機会を得、トレーニング効果を検証した。

・トレーニングキャンプ期間

平成27年 9月29日から10月8日(10日間)

(ACCトラックアジアカップ2015タイラウンド開催期間)
平成27年10月9日から10月11日(3日間)

・開催地：タイ王国・バンコク ファマーク自転車競技場

・派遣スタッフ：3名

中華人民共和国(上海チーム)：コーチ3名

香港チャイナ：選手1名

カザフスタン：選手4名、コーチ2名

マレーシア：選手7名・コーチ2名

シンガポール：選手1名

タイ王国：選手4名、コーチ4名

ウズベキスタン：選手4名・コーチ1名



ウォーミングアップ



コーチへのミーティング



終了ミーティング



競技場での集合写真

③トラック競技大会 (夏・秋2大会)

(http://www.csc.or.jp/event/track_kidsmasuter/index.html)

今年で11年目を迎え、競技会場も4年前より屋内板張り250m自転車競技場「伊豆ベロドローム」に移し、天候に左右されることなく毎年開催している。

CSCトラック自転車競技大会 2015 夏(kid's~マスターズ)



ケイリン競争



親子チームスプリント



団体追抜競争



集合写真

- ・開催日：平成27年7月25日・26日
- ・会場：伊豆ベロドローム
- ・参加人数：100人

CSCトラック自転車競技大会 2015 秋



ケイリン競争



親子チームスプリント

(別紙5)



女子チームスプリント



集合写真

- ・開催日：平成27年10月11日
- ・会場：伊豆ベロドローム
- ・参加人数：89人

2 予想される事業実施効果

アジアサイクリングセンターの運営

1 国内トレーニングキャンプ

国内トレーニングキャンプの参加者は、今回においても年々増加傾向にあるジュニア・ユース世代の若い参加者であることから、基礎的なトレーニングに主眼を置き、将来性を考慮した長期的な育成ビジョンに基づくトレーニングを行うことにより、アジア地域における選手の競技力の向上並びにトラック競技の普及が図られ、世界レベルで活躍できる選手の輩出が期待できる。

2 海外トレーニングキャンプ

経済的な事情で国内キャンプには参加できない南・東南アジア地域の競技発展途上国において、トラック競技の普及と振興を図るには、必要不可欠なトレーニングキャンプであり、継続的に実施することによって、アジア地域の有望選手発掘及び育成にも繋がっていくと期待されている。

自転車競技大会の開催

3 トラック競技大会

国内唯一の屋外型板張り250mトラック「伊豆ベロドローム」を会場に自転車競技大会を開催することは、自転車競技に対する関心を高揚し、愛好者の競技力向上を図る絶好の機会となることから、今後も継続して大会を開催することで、自転車競技者の底辺拡大が図れるものと思料する。

(別紙5)

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

国内トレーニングキャンプ

トレーニングマニュアル A4 1/0C ; 50 枚

トラック競技大会

大会募集チラシ(夏大会) A4 1/0C ; 1000 枚

大会プログラム(夏大会) A4 1/0C 20P ; 150 部

大会募集チラシ(秋大会) A4 1/0C ; 1000 枚

大会プログラム(秋大会) A4 1/0C 20P ; 120 部

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名: 一般財団法人 日本サイクルスポーツセンター

(フリガナ) イッパングァイタンホウジン ニッポン サイクル スポーツ センター

住所: 〒141-0021

東京都品川区上大崎3丁目3番1号

代表者: 会長 平柳 豊 (カイヨウ ヒラヤナギ ユカ)

担当部署: 総務部総務課 (ソウムブ ソウムカ)

担当者名: 総務課長 土屋博良 (ソウムカチヨウ ツチヤ ヒロヨシ)

電話番号: 0558-79-0006

F A X: 0558-79-0908

E - m a i l : csczaimu@csc.or.jp

U R L : <http://www.csc.or.jp>